

あとがき

今年度から第8次研究として「キャリア発達を促すカリキュラムマネジメント」～新しい職業学科として社会に開かれた教育課程の構築を目指して～を研究主題に据えて、研究に取り組み始めました。平成31年2月に告示された新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を実現するために各学校においてカリキュラムマネジメントが求められています。具体的には、教科等の目標や内容を見渡し、特に学習の基礎となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や今日的な課題に対応して求められる資質・能力を育成するために教科等横断的な学習を充実させたり、主体的・対話的・深い学びの充実のために単元など数コマ程度の授業のまとまりの中で、習得・活用・探求のバランスを工夫したりすることです。

本校では、これらのことをふまえ、1年次の研究として、協同学習をベースとした「主体的・対話的・深い学び」の視点を取り入れた授業実践に取り組みました。授業のポイントや見学のポイントを「主体的・対話的・深い学び」の視点に絞ることによって、授業を見る側も授業を行う側も研究に取り組みやすくなりました。次年度以降も更に生徒にとってわかりやすく、卒業後に役立つ能力の育成が図れる授業づくりが行われることを期待しています。

寄宿舎では、事例研究を行い、「生活習慣や余暇活動」をキーワードに研究に取り組みました。特に生活習慣に課題のある生徒を対象として取り上げることによって、今後の生活に関わる問題に向き合う指導の充実に向けての共通理解を深めることができました。

8月には、北海道立特別支援教育センター教育課 視覚障がい教育室長 沓澤整治様をお迎えして、児童生徒のキャリア発達を促すために、学習の基礎となる資質・能力や新しい時代に必要となる資質・能力をどのように育成していくのかなどについて御講演をいただき、町内外から多くの参加をいただき、盛会で終えることができました。講師を引き受けていただいた先生と、参加していただいた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今後も、生徒一人ひとりが夢や希望を持ちながら充実した社会生活が送れるよう、研究・研修を推進していきたいと思えます。期待され信頼される学校であるために、皆様に御一読賜り、御意見・ご指導いただければ幸いです。

平成31年3月

北海道今金高等養護学校

教頭 業天誉久

共 同 研 究 者

学校長 坪井 克彦
教 頭 業天 誉久

<教務部>

1 学年 泉谷 好子 、内田 義文 、津村 理子 、山木 謙 、小林 和幸
祐川建一郎 、西脇 功二 、亀田 倫代 、山本 拓郎 、高山 愛望
出村 朱美 、橘 晴美

2 学年 田中 博昭 、山田みゆき 、野呂 篤志 、初山小枝子 、小原 政住
住谷 亮 、中市 浩史 、村瀬はるな 、海田 健 、石井 綾香
福井也寸志 、穴田 祐美 、関口 浩介 、野村 洋子

3 学年 田中龍右エ門 、大槻 啓二 、中島 朋之 、上村 幸教 、高田のぞみ
石川 誠 、金子 亘喜 、成田 直浩 、外山 陽子 、石田 浩子
工藤 大地 、木田 絢子 、森山 紫帆 、飯嶋 翔世 、青山 未帆
中山 諒一 、吉本 香奈

<舎務部>

生内 希 、竹端 賢一 、伊藤 亮 、日野岡佑亮 、猿渡 雅史
武部ひとみ 、町中 謙太 、小林 千春 、折原 健 、猪瀬 雅法
村田 祐介 、島野 五樹 、工藤 晴奈 、佐藤 友梨 、成澤美恵子
澤谷 由江

平成30年度 研究紀要 **創** TSUKURU 第21号

発行者 北海道今金高等養護学校長 坪井 克彦

発行日 平成31年3月1日

〒049-4304 北海道瀬棚郡今金町字今金454番地1

TEL (0137) 82-3121

FAX (0137) 82-3092